



第1回環境省食品リサイクル推進環境大臣賞 最優秀賞を受賞

食品関連事業者であるユニー（株）は、店舗から排出する食品循環資源（食品残さ）を、環境に配慮し有効にリサイクルするために、堆肥製造者であるヒラテ産業（再生利用事業者）、堆肥を使って農作物を栽培するJA愛知経済連と、食品リサイクルループを構築したことにより、2007年10月、第1回環境省食品リサイクル推進環境大臣賞 最優秀賞を受賞しました。



環境省中部事務所
関山所長（左）・佐々木会長（右）



食品リサイクル推進に向けての取り組み

■JAとの消費者交流会

店舗から排出される食品残さを材料にした堆肥を使って、野菜・果物など農作物を栽培している農家と消費者の交流会を開催しています。食品リサイクルで栽培した農作物などについて、農家と消費者はお互いに情報交換をしました。欲しい野菜の種類など消費者の意見を聞き、農家からはおいしい野菜の選びかたのアドバイスがあり、収穫体験や採れたての野菜でつくった郷土料理の試食など、楽しい交流ができました。



■JAエコ部会総会

食品リサイクルループで農作物を栽培しているJAあいち海部で、エコ部会総会が開催されました。食品残さを材料にした堆肥を使った農作物の栽培は、堆肥の形質や栄養成分などの知識や栽培技術が必要です。そうした知識や技術などの情報交換や、1年間の収穫実績の報告や次年度の栽培計画などを話し合い、更に輸送に携わっている事業者やユニーの青果商品部との意見交換をし、リサイクルループの継続的発展を確認しあいました。



■収穫体験

食品リサイクルループで栽培している米や野菜の収穫体験を子供たちに体験してもらいました。また、食品残さから堆肥をつくる現場では、堆肥の山に手を突っ込んで「熱いね」、堆肥の熟成する臭いを「バクテリアのおならはちょっと臭いね」などの感想が子供たちからありました。初めて堆肥に触れた子供たちは、堆肥で栽培した米や野菜を収穫し、「食物を大切にする」ことを学びました。

